

河川事業の再評価概要書

() は、前回再評価時

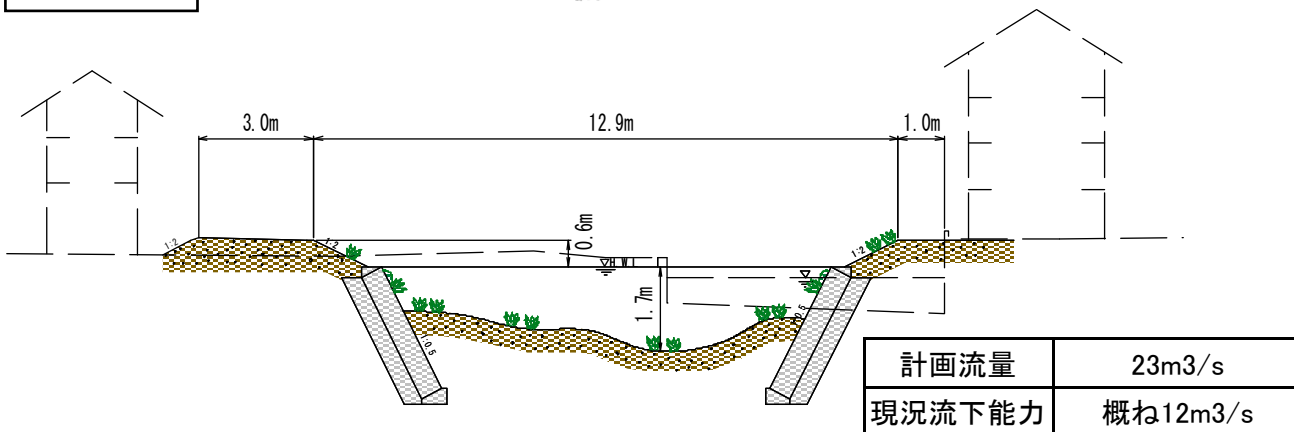
		番 号	105	
		事業主体	栃木県	
事業名	安全な川づくり事業		事業所管課	県土整備部 河川課
路線・河川名	一級河川 <small>やばがわ</small> 矢場川		事業箇所名	<small>あしかがし</small> 足利市
事業区間	<small>あしかがししまたちょう</small> 足利市島田町地先～ <small>あしかがしみなみおおまち</small> 足利市南大町地先		事業延長	2,930m
平成9年度事業化			平成9年度用地着手	平成9年度工事着手
事業期間	(H9 ~ H28) H9 ~ H28	事業 進捗 状況	基準年次：【平成23年度末時点】	
[うち用地補償費] 全体事業費	[9.8 (9.9)億円] 23.3 (18.5)億円		進捗率 [うち用地補償費] [8.6億円] [88%] 既投資事業費 18.3億円 78%	
事業概要				
<p>矢場川は群馬県太田市に源を發し、足利市の市街地南部を流下して渡良瀬川に合流する一級河川である。計画区間は、屈曲が著しい上に河川断面が狭く、流下能力が不足していることから、豪雨時には宅地や農地に浸水被害が生じている。</p> <p>そこで、河川断面の拡大を図り、氾濫を防止し浸水被害の解消を図る。</p>				
事業を巡る社会経済情勢等の変化				
<p>・計画区間の沿川では^{ほりさと}堀里ニュータウン等、宅地化が進んでいる。</p>				
事業の投資効果				
① 費用対効果分析結果				
		【総便益 (B)】	【総費用 (C)】	
1) 事業全体	B/C=10.3	297.0億円	28.7億円	[L=2,930m 区間]
2) 残事業	B/C=11.7	61.2億円	5.2億円	[L=800m 区間]
② 事業の整備効果等				
整備を図ることにより、宅地、商業施設、道路や農地の浸水被害が解消される。				
事業の進捗状況等				
① 事業の進捗状況				
事業延長 2,930m のうち ^{うしろがわらばし} 後河原橋から矢場川橋 (国道 50 号交差点部) 上流までの 2,130m 区間の整備が完了している。				
② 今後の事業進捗の見込み				
今後の事業については、計画的に整備が進められる見込みである。				
コスト縮減等				
① コスト縮減方策				
護岸は、橋梁などの構造物周辺や水衝部など必要な部分への設置を基本とし、工事費の縮減を図っている。				
② 代替案立案等の可能性				
計画区間の上流部は、市街地で人家が連担しており、遊水地等の適地がないことから、現行計画が最適である。				
事業の対応方針 (案)		現計画で事業を継続する。		

事業箇所(位置図、概要図)

位置図



標準断面図



概要図

